

I 定例役員・幹事会開催

1月22日（土）（15:00～17:00）大阪市・中之島プラザ会議室にて、井内OBの司会で開催されました。（写真1）

出席者 12名全員（敬称略・*委任状にての3名含む）

役員 松尾(会長)・三角(会長補佐)・*阪本（会計）

幹事 酒井・青嶋・*西村・井内・兵藤・*宮崎・柿塚・横山・松永

【議案1】平成28年活動報告についての報告

- ・会計報告
- ・広報活動報告・・・関西慶應寮和会新聞（17～19号）
寮和会報寄稿（42号、43号）

【議案2】平成29年の定例懇談会の検討

- ・全体的な運営方針や実施原案を基に実施について協議し、下記をベースに企画を検討することになった。

<検討案>

- ・春期 第11回定例懇談会

日時：5月13日（土）または5月20日（土）

企画：「水都満喫チケットの活用による大阪水都巡り」をメインに検討
（右にパンフレット掲載）

- ・秋期 第12回定例懇談会

日時：11月11日（土）または18日（土）

企画：「サントリー山崎」をメインに検討。もし実現が難しければ、
「堺地域の散策」、または、「西宮酒蔵巡り」を代替案とする

【幹事交代】

- ・今回から柿塚OBが幹事を退任（大学院博士課程を修了、4月から関東で就職するため）、代わりに横山OBが幹事に就任する旨、松尾会長から委嘱があった。



写真1. 役員・幹事会開催

ようやく打ち合わせが終わり、お楽しみの新年会を福島の「ごま厨」で、柿塚OBの送別、横山OBの歓迎を兼ねて、実施しました。

(写真2)

松尾会長のご挨拶を皮切りに始まった宴も半ばとなり、柿塚OBから退任の挨拶と横山OBから新任のご挨拶がありました。

今年で5年目になる新年会もますます盛り上がり、楽しいひと時を持つことが出来ました。

最後に今年の健闘を誓い合い、お開きとしました。(写真3)

II OFF-TIME

役員・幹事紹介も一巡しましたので、二回目となりますが、記者の趣味についてご紹介します。前回ご紹介した将棋と並んで楽しんでいるのが、読書と京都散策です。(いずれもお金のかからない趣味)

12月に阪神デパートに〈没20年 司馬遼太郎展〉を観に行きました。展示会では、代表的な作品が戦国時代・幕末・明治そしてエッセイに分けて紹介されていました。また、自筆の原稿や愛用されていた机・文具も展示されており、司馬遼太郎ファンとして思わず引き込まれてしまいました。

記者の一番好きな作品は〈坂の上の雲〉。明治の軍人秋山好古、秋山真之兄弟とふたりの友人：正岡子規の三人を主人公に、松山出身の彼らが近代日本の勃興期明治をいかに作り上げ生きたのかが、生き生きと描かれており、その点に魅了されます。

以前、東大阪市にある司馬遼太郎記念館に行った時、驚いたのは2万冊にも上る蔵書数。司馬史観の是非はあると思いますが、徹底的な歴史考証により生み出された作品は迫力が違います。

また今回の展示を見て、まだ手を付けていないジャンルが多いことにも気付かされました。手始めに〈街道に行く〉シリーズにでも挑戦してみようかなと考えています。



写真2. 新年会での懇談



写真3. 今年の健闘を誓って

次に京都散策についてです。記者は京都出身なので主な寺院は行っていると思っていたのですが、雑誌の記事にあった源光庵（北区鷹峯）には行ったことが無いことに気付き、早速行ってきました。

源光庵は、悟りの窓と迷いの窓で有名な禅寺で、屋内と屋外の明暗が絶妙な景観を見せてくれます。（写真4・5）また、本堂には伏見桃山城から移した血染めの天井があり、その手形には唯々圧倒されてしまいました。次は是非秋に訪れ、二つの窓から紅葉を楽しみたいと思います。

Ⅲ 編集後記

創刊号より担当してる関西慶應寮和会新聞も今回で20号になりました。増田元会長補佐、松尾会長を始めとして多くの方のアドバイスを頂き、なんとかここまでやってこれたと考えています。

活動を広く会員の皆様に知って頂くため、今後も年に数回ですが、発行してまいりますので、ご愛読よろしくお祈いします。

定例懇談会も既に十回を数えますので、観光地に恵まれている京阪神と言えども全員が楽しめることを考えると年々選択が難しくなります。それにも関わらず今年の企画案は面白そうで、今から楽しみです。

今年も役員・幹事協力して、楽しい企画にしていきますので、誘い合っご参加のほどよろしくお祈いします。

以上



写真4．源光庵 悟りの窓（丸）と迷いの窓（角）



写真5．源光庵本堂を臨む